

みんななみなべが好きだから。

将来のみなべ町を担う原動力となる若者の質問に、山田町長がざっくばらんに答える対談スタイルで、皆さんに大好きな故郷のこれからを熱く語っていただきました。



細川 それではまず合併に関する話から進めていきたいと思っています。ご質問をお願いします。



細川安宏さん(みなべ町筋) 司会進行。みなべ町教育委員会地域教育主事。

早川 合併によるメリット・デメリットは何だとお考えですか。

町長 本当の合併とは行政だけでなく住民同士が一つになることだと思っています。旧南部町、旧南部川村のときから産業も生活文化も人の考え方も似ており、合併前のアンケートでも2町村同士の合併を望む声が圧倒的に多かったみなべ町



早川明由美さん(みなべ町北道) JAみなべいなみ勤務。「大学時代、みなべに帰ってきて海や山を見るたびホッとしました。これからは自然に囲まれた美しいみなべ町を守ってほしいと思います」

では、すでにそれができつつあります。あとはほとんどまちづくりを進めていけばいい。それがメリットですね。デメリットはほとんど見あたりません。しかし、小さな合併ということから人口が比較的

少なく、これから解決のため努力していかねばなりません。

早川 今後さらに広域合併はあるのでしょうか。その時、みなべはどうなりますか。

町長 今後10年間くらいは大きな動きはないだろうと思いますが、この10年間に経済、福祉、教育、町の力をしっかり蓄えておくことが大事です。20年後、30年後の大きなうねりに備えて



山田五良町長(みなべ町晩稲) 旧南部川村長。「行政に携わる者として昭和、平成と2度の合併を体験しました。小さくとも個性あるまちづくりのため頑張っています」

イニシアティブをとれる町として成長しなければなりません。そのためにも若い皆さんに頑張ってもらいたいと思います。

細川 将来の発展を考えると、今では基幹産業である梅産業の活性化が重要となりますね。

井口 今後の梅産業の発展策について具体的な取り組みはありますか。

町長 みなべの梅産業は町の経済を豊かにし、ひいては教育や福祉事業を充実させる原動力となっています。しかし、日本経済の低迷、中国産梅増加、国内の産地間競争激化などにより梅の売れ行きが伸び悩んでいます。こういうときこそみなべの梅ブランドを守り続けていくことが大切です。国内でも国外でも打ち勝っていく力をつけるため、農業者、農協、梅加工販売業者、町行政の4者ががっちり歯車をかみ合わせて取り組まねばなりません。



井口裕元さん(みなべ町西本庄) 青年クラブみなべ副会長。会社役員。「みなべ町のいいところは田舎の安らぎ空間があることです。町へ戻ってくる若い人たちの知識や経験を活かせる場をもっとつくってほしいと思います」

ために、良いアイデアはありませんか。

町長 やはり高齢者にもっと食べてもらうようにすることが大事だと思います。また、梅干の需要を将来まで確実に増加させるためには子どもの時から梅干を食べる習慣を浸透させる努力も大切でしょう。家庭はもちろんだら給食でも梅干を食べてもらえるように全国PRをしたり、バレンタインデーならぬ梅干デーをつくったり、子どもにも食べられるような梅商品の開発なども必要だと思います。また最近、町が研究していた梅の

もつ成分の医学的効能の結果が出ましたので、確たる健康食品として売り出していきます。

東 新しい需要を創造するということ点で梅農家ができることはありますか。

町長 梅とえば観光のお客様も大事です。高速道路が田辺まで延びることによって観光や産業への影響をどうお考えですか。



東 匡一さん(みなべ町晩稲) みなべ梅郷クラブ所属。梅農家。「少しの間外へ出てきましたが、町へ帰ってきたときはホッとしました。救急車や消防車が入れない道が結構多いので、早く拡幅してほしいと思います」

町長 高速道路が延びればみなべが素通りされてしまふという懸念はありません。そうならないように、平成19年2月の全国梅花フェスティバル開催を誘致するなど積極的に観光と産業を結びつけたPR活動に取り組んでいます。また、このころ外国からの宿泊客も増加傾向にありますので、彼らの興味をひく魅力づ

くりや観光PRも重要になります。そのためには町の環境整備も大切です。町民の快適な暮らしのためにも、狭い道を拡げたり、携帯電話の通信不能地域を解消したり、またブロードバンド網の整備などにも尽力していきます。



林 晴香さん(みなべ町東本庄) みなべ町商工会勤務。「町で楽しく暮らしています。外灯が少なめなので、みんなの安全のために増やしてほしいと思います」

中早 私たち若者に期待されることやご意見をお聞かせください。

町長 合併後1年が経ち、あなたたち青年クラブや婦人会など各団体が積極的に活動してくださるおかげで、地域が融合してうまくまちづくりが進んでいま

す。このように町が活性化され、軌道に乗っている今、それぞれのポジションで一人ひとりの活躍を願っています。若い方は、新しい感覚で勉強もいろんな活動も精いっぱい頑張ってください。自分たちで自分たちなりの新しい道をどんどん切り拓いてもらいたいと思います。そして、若い力でみなべ町をより一層活気ある町にしていきたい。あなたたちの柔軟でのびやかなパワーに大いに期待しています。



中早大輔さん(みなべ町西岩代) 青年クラブみなべ会長。梅農家。「様々な青年活動が盛んなみなべ町を誇りに思います。これは、みんな町が好きだという証拠だと思いますし、行政のバックアップのおかげと感謝しています」

有本 梅干がもっと売れる



有本 圭吾さん(みなべ町東岩代) 青年クラブみなべ副会長。梅農家。「人情味あふれるみなべの人たちが大好きです。残念なのは古川が汚いこと。早くきれいな川に戻してほしいと思います」

的に観光と産業を結びつけたPR活動に取り組んでいます。また、このころ外国からの宿泊客も増加傾向にありますので、彼らの興味をひく魅力づ



有本 梅干がもっと売れる